

令和7年度 第2回 地域密着型通所介護運営推進会議 資料



地域ハロウィーンイベント（あおやまマリオブラザーズ）

株式会社あいむ介護サービス
デイサービスあおやま

地域密着型通所介護運営推進会議について

1 目的

「運営推進会議」とは、厚生労働省令に基づき、利用者の家族や地域住民の代表者等に、提供しているサービス内容(活動状況)を明らかにすることでサービスの質を確保し、地域との連携を図ることを目的としています。

2 構成メンバー

- ・利用者、利用者家族
- ・地域住民の代表者
- ・市職員又は地域包括支援センター職員
- ・地域密着型通所介護について知見を有する者
- ・デイサービス関係職員

3 頻度

概ね6か月に1回以上（年2回以上）

4 資料の内容

デイサービスの活動状況を報告させていただきますで、助言や要望等のご意見をお願いいたします。

デイサービスの概要

1 概要

令和元年6月1日開設。定員17名。日曜・年末年始(12/29～1/3)以外営業。

『住み慣れたご自宅で、充実した生活が送れるように』をモットーに、“デイサービスあおやま”では戸建て住宅を改修し、車椅子のご利用者にも対応しながら、よりご自宅に近い環境のもと、炊事、洗濯、掃除、入浴など日常生活には欠かせない活動(行動)を生活リハビリとして、個々に沿ったサービスを提供しています。また、集団活動としては、季節ごとの行事などを実施しています。

活動報告（令和7年9月～令和8年3月）

1 事業・活動内容

① 地域行事参加について

利用者、職員ともに楽しみにしている、恒例行事の地域主体のハロウィーンイベントに今年も参加させていただきました。今年は「マリオブラザーズ」に仮装しました。100個以上のお菓子を用意していましたが足りないほどの来訪者にびっくりしました。



ハロウィーンイベント（お菓子の袋詰め・飾付け用塗り絵）

② レクリエーション等について

通常のレクリエーションに加え、また、暖かい日には近くの公園への散歩にお出かけしています。

お花好きな利用者が多いので、施設周りのお花植えにも積極的にお手伝いをして頂いています。



③ ボランティア行事について

今年も色々なボランティアさんにご協力頂きました。新しいボランティアさんも増えサービスの幅も広がっています。



紙芝居（昔懐かしい）



腹話術（真央ちゃん）



④ 季節行事・制作レクについて

利用者に季節を感じていただけるように、様々な季節行事を開催しました。
節分行事の豆まきでは鬼の金棒を奪い取り、一所懸命に鬼退治をされていました。
笑いの絶えない行事になりました。



季節の飾り作り（個性あふれる作品）



クリスマス会（クリスマス特別メニュー・利用者と職員による手品）



大宮八幡宮でご祈祷



狂喜乱舞！豆まき

2 職員研修及び各種委員会について

職員研修年間計画に基づき、感染症予防や身体拘束、虐待防止などの職員研修を厚生労働省等が出している動画を活用し、行っています。また、各種委員会も定期的に行っています。

今年度もBCP訓練も実施しました。社内（4事業所合同）抜き打ちの伝達訓練（1/16）を行い、新しい課題（別紙参照）も見つけられました。また、三木市消防本部予防課立ち合いの元、地震想定訓練（3/11）を行いました。当日は、実際さながらにテレビより「緊急地震速報」を流し、傷病者を想定して搬送訓練・通報伝達訓練も行いました。



※業務継続計画とは BCP : Business Continuity Plan

大地震等の自然災害、感染症のまん延、テロ等の事件、大事故、サプライチェーン（供給網）の途絶、突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い時間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画のことを業務継続計画（BCP）と呼ぶ。

3 職員の介護福祉士（国家資格）取得について

当デイサービスで新規採用した無資格者が介護職員初任者研修を受講し、3年の実務経験を積み、介護福祉士資格を取得（R8.3.16）。介護福祉士割合が100%

また、三木市の介護福祉士資格取得助成金制度の活用をしました（5万円程度）。

4 事故報告・ヒヤリハット報告について

介護保険法の運営基準に基づき、介護事故が発生した場合には速やかに市町村（三木市）および家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じなければなりません。

三木市に対する事故報告基準

- ① サービスの提供による、利用者のケガまたは死亡事故
- ② 食中毒及び感染症の発生
- ③ 職員（従業者）の法令違反・不祥事等の発生
- ④ その他、報告が必要と認められる事故の発生

三木市への事故報告→無し

ヒヤリハット事例→4件（グループLINEで運営管理）

- 歩行不安定な利用者が一人での移動（R7.10.28）

末期癌の利用者が不意に一人でトイレに行こうとされていた（転倒無し）。

（対応等）

職員の目配りが出来やすい座席配置へ変更。また、他の利用者への見守り協力要請実施。

- 男性利用者からのセクハラ行為（R7.10.30）

女性職員に対し、不意に胸を触る行為。担当ケアマネにも自宅訪問時に同様行為あり。

（対応等）

家族（長男）・担当ケアマネ報告。本人に対し、管理者より口頭注意。セクハラの認識は薄く「今は色々アカンねんなあ〜。」との返答あり。

今後も問題行動がある場合は記録を残し、家族・ケアマネに報告する事を再確認。

- 椅子からのずり落ち（R7.12.11）

椅子に座っていたがバランスを崩し、椅子からずり落ちる。病院受診の必要性無し。

（対応等）

着席時に安定して座位が取れるよう座布団等を使用する。また、他の利用者への見守り協力要請実施。

家族（長女）・ケアマネ・サ高住（住居先）報告・情報共有し、容態変化あればすぐに連絡をもらうように調整。

- 認知症利用者の来所拒否による道路への飛び出し行為（未遂）（R8.3.14）

家族送迎（徒歩）で来所しているが、機嫌が悪く、入室拒否ありが急に家族の手を振り払い道路に飛び出そうとした。家族が鞆の紐を持ち飛び出しには至らず。

（対応等）

家族への今後の認知症進行具合にもよるが地域の専門外来への受診相談を打診する。また、担当ケアマネに報告。サービス担当者会議開催を依頼（3/23開催予定）。

5 利用数など

実人員(令和8年3月現在)

(単位:人)

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
2	3	7	12	7	1	1	33

延べ利用者数、営業日数、1日当たりの平均人数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
要支援 1	9	9	8	10	7	7	9	8	7	8	7	89
要支援 2	23	26	19	16	17	24	19	17	16	16	22	215
要介護 1	81	55	56	61	63	65	78	69	65	52	54	699
要介護 2	84	75	104	106	105	109	133	112	120	85	78	1111
要介護 3	42	39	36	30	38	37	53	59	59	63	56	512
要介護 4	24	48	44	34	23	24	18	0	2	2	0	219
要介護 5	4	2	2	3	0	5	3	4	4	4	4	35
計	267	254	269	260	253	271	313	269	273	230	221	2880

営業日数	26	27	25	27	25	26	27	25	26	24	24	282
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

1日平均	10.3	9.4	10.8	9.6	10.1	10.4	11.6	10.8	10.5	9.6	9.2	10.2
------	------	-----	------	-----	------	------	------	------	------	-----	-----	------

※昨年度、年間平均利用人数：10.5人（目標：13.0人）

今後の取り組み（令和8年4月～令和8年9月）

- 1 利用者数増加に向けての取り組み・業務改善計画の作成
(利用者・ケアマネ向けチラシ作成等) (R8. 4)
- 2 地域のふれあいサロンへの参加 (R8. 6. 18)

令和7年度第2回 地域密着型運営推進会 議記録

事業所名 住所 サービス種類	名称：デイサービスあおやま 住所：三木市志染町青山5丁目9-5 サービス種類：地域密着型通所介護
開催日時	令和8年3月19日（木） 14：30～ 15：15
開催場所	デイサービスあおやま
出席者内訳	利用者・家族：●●様（利用者代表） ：●●様（家族代表） 地域代表：●●様（青山5・6丁目老人クラブ会長） 市・包括職員：●●様（三木市介護保険課） 見識者：●●様（三木市社会福祉協議会） 事業者：石田（施設管理者）
議題・課題	● 活動報告 ● 今後の取り組み
報告事項	● 資料にて説明（別紙参照）。
評価、要望、意見及び助言等	● 利用者代表 この歳（95歳）になって親切にしてもらって幸せです。みんなと笑えあえて嬉しい。これからもよろしく願います。 ● 家族代表 デイサービスのアドバイスでショートステイとヘルプ（モーニングケア）を使い始めて、気持ちと身体が楽になりました。主人は毎回同じ事を言いますが、「OKサイン」で帰って来るので楽しめていると思います。 ● 青山5・6丁目老人クラブ会長 いつも良い活動をしていると思います。その中でも「ヒヤリハット」は安全管理において重要。昔、製鉄所で勤めていたがその当時から行っていた。“隠さないで

	報告する” “何気ない見過ごしを大切にする”それを共有すること。データによると27件のヒヤリハットで1件の事故起こると言われている。また「想定ヒヤリハット」も大切だと思います。今後も継続して欲しい。 <u>※想定ヒヤリハットとは、事故や災害に至る可能性のある危険な状況を事前に認識し、対策を講じるための重要な概念。</u> ● 介護保険課 他の地域密着型施設では地域のイベントに参加する事が難しい中、参加出来ていて良いと思います。 利用者数（減少傾向）についてはどこの地域密着型通所介護も困っているのが現状。ケアマネジャーに対して「空き状況が見える化」に努めてみてはどうか。 また、次期介護保険計画作成中で各施設にアンケート調査中。 <u>ヒヤリハットの取り扱いについて</u> 現在、グループLINEで管理運営している。それでも大丈夫でしょうか？ →セキュリティ管理をしっかりと行う事。また、市より提示を求められた時にすぐに記録が見る事が出来るのであれば問題はない。 ● 三木市社会福祉協議会 ヒヤリハット報告について、社協デイサービス（7箇所）については各事業所、紙ベースで管理している。70数件上がっており、その中には「送迎ミス」といった些細な事も取り上げられている。あげる事がダメと思わない様にしなければならない。病院受診を伴う件については事故報告として市に報告している。
その他	● 次回開催は令和8年9月頃を予定している。